

報道関係者各位

2023年11月29日

第24回テレワーク推進賞受賞企業・団体を決定**2024年1月11日（木）に表彰式を開催**https://japan-telework.or.jp/news/newsrelease_20231129/

一般社団法人日本テレワーク協会（会長：栗原 博、所在地：東京都千代田区、以下日本テレワーク協会）では、この度「第24回テレワーク推進賞」の受賞企業・団体を決定しました。

日本テレワーク協会は、ICT（情報通信技術）を活用して場所や時間にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」の普及促進を目的に「テレワーク推進賞」表彰事業を2000年から継続して実施しております。

第24回を迎えた今年度は、『見つけよう！真に時間と場所にとらわれない暮らしと仕事のスタイル』をテーマに7月3日から募集を開始しました。9月19日に締め切り、その後、テレワーク推進賞審査委員会（委員長：比嘉邦彦 東京工業大学名誉教授、一般社団法人 日本テレワーク学会 特別顧問）により厳正に審査を行った結果、株式会社NTTアグリテクノロジーに会長賞を授与することとしたほか、合計9組の企業・団体の受賞が決定しました。

また今回の決定を受けて、2024年1月11日（木）「JTA アニュアルカンファレンス」において「第24回テレワーク推進賞表彰式」を開催します。

【第24回テレワーク推進賞 受賞企業・団体一覧】**■会長賞** 株式会社NTTアグリテクノロジー**■カテゴリ別受賞企業・団体****a:実践事例**

優秀賞 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

優秀賞 LAPRAS 株式会社

奨励賞 コクヨ株式会社

b:普及貢献/ビジネス創出

奨励賞 株式会社寿商会

c:地域活性化

奨励賞 鹿沼市

d:社会貢献

奨励賞 株式会社オープンハウスグループ

e:ユニークな取り組み

ユニーク賞 小田原もくもく・ワーケーション会

ユニーク賞 株式会社北陸人材ネット

（注）上記企業・団体は各カテゴリ内、各賞内で50音順になっております。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本テレワーク協会「テレワーク推進賞」事務局 担当：関 / 三浦

TEL 03-5577-4572 携帯 080-7723-6261

URL <https://www.japan-telework.or.jp>e-mail suishinsyo@japan-telework.or.jp

【第 24 回テレワーク推進賞 受賞理由】

会長賞

企業・団体名	株式会社 NTT アグリテクノロジー (東京都新宿区 代表取締役社長 酒井 大雅)
応募タイトル	遠隔営農支援で一步先のリモートワークを実現
受賞理由	<p>1. 我が国において食料自給率の低下と農業従事者の減少が進む中、新たなアプローチを通して社会課題に取り組んでいる。これはテレワークのリモートスタイルを活かし、「遠隔営農支援」の仕組みを開発し、これまでテレワークに馴染みにくいとされてきた「新しいテレワーク領域 開拓」の先進的事例として高く評価された。</p> <p>2. スマート農業の一環として遠隔地の専門家の指導による作業者のノウハウの向上と遠隔管理の仕組みを活かす事で、この業種が抱える労働力不足の解消を実現し、地域創生への貢献が顕著である。</p> <p>3. 同社のテレワークは、「一步先を行くモノづくり」として、農業分野だけでなく製造業、建設業、医療など、多様な業種の「現場型テレワーク活動」実現への波及効果が期待できる事例として高く評価された。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=wdTarlIei_c</p>

■ カテゴリ別受賞企業・団体

a : 実践事例 優秀賞

企業・団体名	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 (東京都江東区 取締役社長 旗生 泰一)
応募タイトル	富士フイルムビジネスイノベーションジャパンにおける個人とチームの生産性を高める働き方改革の取り組み
受賞理由	<p>1. ABW を支える様々なソリューションが用意されており、モバイル PC やスマートフォンを活用したテレワークがスムーズに実現されている。またテレワーク技術を使った業務プロセス改革を展開し、人事制度やオフィス環境の総合的な改革も行われている。</p> <p>2. 実践事例として全国横断でのインサイドセールス、テレセールス活動のでも具体的な成につながっている。</p> <p>3. テレワーク実践のステップとしては自社での定着は完了し、その知見を基に広く他社へ拡散するステージに来ていることが評価された。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=k-5Wu33eGnU</p>

a : 実践事例 優秀賞

企業・団体名	LAPRAS 株式会社 (東京都品川区 代表取締役 CEO 染谷 健太郎)
応募タイトル	働きがいも生産性も向上し、幸せが持続する働き方
受賞理由	<p>1. LAPRAS Sustainable Working Style という独自の働き方を開始し、最低労働時の撤廃や人事評価制度の変革などテレワークの阻害要因を克服した。</p> <p>2. 従業員の一人ひとりのパフォーマンス評価の透明性を高め、勤務時間の拘束を解放することにより従業員の満足度が高いことなど、テレワーク環境の整備の視点で他の多くの企業へ波及性があると評価された。</p> <p>3. さらに持続可能なワークスタイルの確立に向け、個人のタイムマネジメント力やセルフコントロール力、心身の健康確保、成果の公正な評価へ注力している。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=YHFzHIVW9Ck</p>

a : 実践事例 奨励賞

企業・団体名	ココヨ株式会社 (大阪府大阪市 代表取締役社長 黒田 英邦)
応募タイトル	働き方の実験！ココヨ式ハイブリッドワーク
受賞理由	<p>1.2022 年からハイブリッドワークを導入し、従業員には三つの選択肢を提供。3 か月ごとに振り返りを実施し、運用のためのガイドラインを定期的に発行するなど柔軟性とブラッシュアップを重視した活動が評価された。</p> <p>2.若手社員の成長をサポートする「n.5」というサテライト型社員向け多目的スペース活用注目。社員のプライベートも含めた成長機会としてワークスペースを提供していることに特徴があり、このコンセプトがとりわけユニークである。</p> <p>3.自社で実践した仕組みを積極的に顧客に提案する姿勢が強く、他への波及性が高い活動であると評価された。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=flpVUUFi9vY</p>

b : 普及貢献/ビジネス創出 奨励賞

企業・団体名	株式会社寿商会 (石川県金沢市 代表取締役社長 若林 孝)
応募タイトル	どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない : クラウド時代の進化型テレワーク
受賞理由	<p>1.「どこにいても仕事の質やスピードが変わらない取り組みであるテレワーク」を効果的に活用し、「会社にいるから効率がいい」という概念にとらわれず、具体的なコミュニケーションの工夫が功を奏し、中小企業のテレワークモデルケースであると評価された。</p> <p>2.質とスピードを変えず、クラウド化や週 1 回の入社、新人とのコミュニケーションなどを有効に活用し、約 8 割がテレワークを採用した。残業は 2 割削減し、仕事のしやすさが向上し、従業員の満足度が高いとの結果が得られている。</p> <p>3.自社でのテレワーク実践を通じて得られたノウハウを他社にも提供する姿勢が明確に示されており、波及効果が期待される。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=zvWDWIYK-vs?si=N7_xAjA5UB97Lh_z</p>

c: 地域活性化 奨励賞

企業・団体名	鹿沼市 （栃木県鹿沼市 市長 佐藤 信）
応募タイトル	鹿沼市のテレワークに関する取り組み
受賞理由	<p>1.自治体が実施するテレワーク事業としてテレワークインフラ整備を進め、地域の課題である人口の増加、地域経済の発展を促進する取り組みを活発化させている。</p> <p>2.現時点ではテレワークの導入期ではあるものの、特に観光施設のワーキングスペース化には新規性が認められた。</p> <p>3.取り組みはあくまでも地域性を重視し既存の資産を活かした施策であり、他の自治体の参考になると評価された。空き店舗や廃校を利用したテレワーク施設の開設は特に注目され、地域活性化に向けた創意工夫が見られた。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=SaNErRbp-wQ</p>

d: 社会貢献 奨励賞

企業・団体名	株式会社オープンハウスグループ （東京都千代田区 代表取締役社長 荒井 正昭）
応募タイトル	サテライトオフィスによる障がい者雇用の歩みと取り組み
受賞理由	<p>1.テレワークによる障がい者雇用促進活動を通じて、組織の包摂性向上や障がい者の well-being に寄与している。多様な人材の確保・活用が求められている趨勢の中で注目すべき取り組みとなっている。</p> <p>2.専門支援員の配置やソーシャルサポートなどの施策を通じ、障がい者の職場定着率を95%前後に維持し長期雇用を実現。最長勤務従業員は8年目を迎え、働くことで障がい改善されている事例も見受けられるようになった。また精神障がい者の比率が高いことも評価された。</p> <p>3.今後、これまでの活動における成果の分析を通じて、障がい者雇用とテレワークとの関係性や、在宅勤務ではなくサテライトオフィスを選択するメリットなどを外部発信することで、さらに高いレベルでテレワークの領域を開発していくことが期待される。</p> <p>応募動画 YouTube https://www.youtube.com/watch?v=MnlQ_I8bmOM</p>

e : ユニークな取り組み ユニーク賞

企業・団体名	小田原もくもく・ワーケーション会 (神奈川県小田原市 代表 渡辺将大)
応募タイトル	小田原もくもく・ワーケーション会_地域活性化事例
受賞理由	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域に新しいビジネスを生み出そうという試みであり、地域におけるテレワークの「社会的な定着」に向けて意義ある取り組みである。 2.小田原周辺のワーケーションスポットを繋ぎ、異なる拠点で仕事をしながらも人的交流を大切に、テレワークの阻害要因をなくして行こうというスタイルには新規性があり、利用者からの評価も高い。 3.一人の社員がUターンをきっかけに副業・兼業で宿泊事業者や交通機関と連携して地域貢献活動を進めている点が評価された。 <p>応募動画 YouTube</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=ymlkG3SNCM</p>

e : ユニークな取り組み ユニーク賞

企業・団体名	株式会社北陸人材ネット (石川県金沢市 代表取締役社長 山本 均)
応募タイトル	「わくわく」働くご縁づくりで「北陸をもっと元気に！！」
受賞理由	<ol style="list-style-type: none"> 1.女性を中心にライフイベントの制約を受けやすい人々に対して柔軟な就労機会を提供し、趣味や副業、社会貢献活動の奨励を通じて well-being の向上とレジリエンスの向上に寄与している。 2.施策が多彩でテレワーク、ワーケーション手当、フルフレックス、裁量の自由、アニバーサリー休暇制度、副業などが挙げられ、これらの取り組みは、小規模企業ならではの進歩的でユニークな実践事例として評価された。 3.自社を実験台としてテレワークをベースに「わくわく」働く場づくりに取り組んで来た歴史を持ち、2022年に奨励賞を受賞したがその後も着実に進化を続けている。 <p>応募動画 YouTube</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=ZN3_KAhiElo?si=DIZHtscy46I2aSspw</p>